

## ■ サルビア号再編案比較

		案 1 全域予約型	案 2 市街地部定時定路線型＋ 郊外部予約型(乗換えなし)	案 3 市街地部定時定路線型＋ 郊外部予約型(乗換えあり)
運行方法の イメージ				
	概要	<p>予約がある箇所のバス停間を移動し、市街地部と郊外部の行き来は同じ車両（ワゴン車 2 台）で運行する。</p> <p>【町内全域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮ルートと仮ダイヤを設定し、予約に応じてバス停間を移動する。</li> </ul>	<p>郊外部は予約がある箇所のバス停間を移動し、市街地部は定められた路線を定められた時間に運行する。市街地部と郊外部の行き来は同じ車両（ワゴン車 2 台）で運行する。</p> <p>【市街地部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ定められた路線を定められた時間に運行する。</li> </ul> <p>【郊外部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮ルートと仮ダイヤを設定し、予約に応じてバス停間を移動する。</li> </ul>	<p>郊外部は予約がある箇所のバス停間を移動し、ワゴン車 1 台で運行する。市街地部は定められた路線を定められた時間に運行し、ワゴン車（または小型バス）1 台で運行する。市街地部と郊外部はそれぞれ違う車両で運行するため、市街地部と郊外部の行き来には乗り換えが必要となる。</p> <p>【市街地部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ定められた路線を定められた時間に運行する。</li> </ul> <p>【郊外部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮ルートと仮ダイヤを設定し、予約に応じてバス停間を移動する。</li> </ul>
	運行回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行日は隔日運行で、川西地区＋市街地部は奇数日、川東地区＋市街地部は偶数日に運行し、基本的に郊外部は 1 日 4 往復で、市街地部はその 2 倍程度往復する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行日は隔日運行で、川西地区＋市街地部は奇数日、川東地区＋市街地部は偶数日に運行し、基本的に郊外部は 1 日 4 往復で市街地部はその 2 倍程度往復する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部の運行日は毎日運行し、1 日 8 往復する。</li> <li>郊外部の運行日は隔日運行で、川西地区は奇数日、川東地区は偶数日に運行し、1 日 4 往復する。</li> </ul>
利用者の利便性	乗り換え・待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部から市街地部へ移動する場合でも、乗り換える必要がない。郊外部から市街地部へ移動する場合、市街地部は郊外部と合わせた仮ダイヤの設定しているため、待ち時間がなく市街地部へ移動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部から市街地部へ移動する場合でも、乗り換える必要がない。郊外部から市街地部へ移動する場合、市街地部は運行ダイヤを設定しているため、郊外部と市街地部の境界で市街地部の発車時間まで待ち時間が発生する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部から市街地部へ移動する場合、乗り換えが必要である。郊外部から市街地部へ移動する場合、市街地部は運行ダイヤを設定しているため、郊外部と市街地部の境界で市街地部の発車時間まで待ち時間が発生する可能性がある。</li> </ul>
	乗車時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域において予約が入った箇所のみを最短ルートで運行するため、乗車時間が短い。（運行本数を多く設定しやすい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は主要施設のバス停をすべて回るルート設定になるため、目的地までの乗車時間が長い。（運行本数を多く設定しにくい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は主要施設のバス停をすべて回るルート設定になるため、目的地までの乗車時間が長い。（運行本数を多く設定しにくい）</li> </ul>
	運行エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域が予約型のエリアのため、需要を面的にカバーできる。（バス停を多く設定できる。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部はバス停とルートを設定するため、運行エリアが限られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部はバス停とルートを設定するため、運行エリアが限られる。</li> </ul>
	事前予約	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部内での移動でも事前に電話予約が必要である。（町外の人から福崎駅から市街地部内を移動する時でも予約が必要）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部内での移動は予約がいらない。（バス停に行けば、時刻表に定められた時刻に乗ることができる。）ただし、郊外部は予約が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部内での移動は予約がいらない。（バス停に行けば、時刻表に定められた時刻に乗ることができる。）ただし、郊外部は予約が必要。</li> </ul>
事業実現性	既存路線への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域が予約型のエリアのため、既存路線と重複する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部はあらかじめ定められた路線を設定するため、既存路線と重複する箇所が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部はあらかじめ定められた路線を設定するため、既存路線と重複する箇所が少ない。</li> </ul>
	使用車両やダイヤの自由度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部と郊外部を同一車両で運行するため、使用車両も限られ、ダイヤ設定の自由度も低くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部と郊外部を同一車両で運行するため、使用車両も限られ、ダイヤ設定の自由度も低くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部と郊外部を別々に運行するため、違う車両で運行することも可能であり、ダイヤ設定の自由度も高くなる。</li> </ul>
	予約への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は、需要が多い場合に予約対応が煩雑になる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は需要が多い場合にも予約対応が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は需要が多い場合にも予約対応が少ない。</li> </ul>
	定員オーバーの可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域が予約型のエリアのため、定員オーバーの場合は、別の便に誘導することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部は細い路地まで入り、市街地部と郊外部の行き来は同じ車両で行うために小型のワゴン車等で運行すると、需要が多い場合（特に市街地内）に定員オーバーする可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部と郊外部はそれぞれ違う車両で運行するため、市街地部は中型車両でも運行できる。（需要が多い場合でも定員オーバーする可能性が低い。）</li> </ul>
	空車運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域において予約がなければ運行しないため、空車のまま運行することがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は利用者がいなくても、空車のまま運行する。（郊外部は、予約がなければ運行しないため、空車のまま運行することがない。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部は利用者がいなくても、空車のまま運行する。（郊外部は、予約がなければ運行しないため、空車のまま運行することがない。）</li> </ul>
	運行経費【年間】	<p>合計：約 1,500 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オペレータ費・デマンドシステム費・バス運行委託費（人件費 2 名、燃料費、諸経費）</li> <li>案 2、案 3 に比べると全域予約型のため、燃料費を安く抑えることができる。</li> </ul> <p>※車両の買替経費は含まない</p>	<p>合計：約 1,500 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オペレータ費・デマンドシステム費・バス運行委託費（人件費 2 名、燃料費、諸経費）</li> <li>案 1 に比べるとデマンドシステムを簡素化できるため、デマンドシステム費を安く抑えることができる。</li> </ul> <p>※車両の買替経費は含まない</p>	<p>合計：約 1,500 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オペレータ費・デマンドシステム費・バス運行委託費（人件費 2 名、燃料費、諸経費）</li> <li>案 1 に比べるとデマンドシステムを簡素化できるため、デマンドシステム費を安く抑えることができる。</li> </ul> <p>※車両の買替経費は含まない</p>

		参考: 全域定時定路線型	
運行方法のイメージ			
概要	運行方法	<p>現在のサルビア号を2台(ワゴン車)に増車して、バス停を増やして町内全域を運行するイメージである。</p> <p>定められた路線を定められた時間に運行する。市街地部と郊外部の行き来は同じ車両で行う。</p> <p>【町内全域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ定められた路線を定められた時間に運行する。</li> </ul>	
	運行回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行日は隔日運行で、川西地区+市街地部は奇数日、川東地区+市街地部は偶数日に運行し、基本的に郊外部は1日3往復で、市街地部はその2倍程度往復する。</li> </ul>	
利用者の利便性	乗り換え・待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域を定められたダイヤで運行しているため、待ち時間がなく市街地へ移動できる。郊外部から市街地部へ移動する場合でも、乗り換える必要がない。</li> </ul>	◎
	乗車時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停を増やし、すべてを回るルート設定になるため、目的地までの乗車時間が長い。</li> <li>(運行本数を多く設定しにくい)</li> </ul>	×
	運行エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停とルートを設定するため、運行エリアが限られる。</li> </ul>	×
	事前予約	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約がいない。</li> <li>(バス停に行けば、時刻表に定められた時刻に乗ることができる。)</li> </ul>	◎
運行効率	既存路線への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ定められた路線を設定するため、既存路線と重複する箇所が少ない。</li> </ul>	◎
	使用車両やダイヤの自由度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地部と郊外部を同一車両で運行するため、使用車両も限られ、ダイヤ設定の自由度も低くなる。</li> </ul>	△
	予約への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約対応がいない。</li> </ul>	◎
	定員オーバーの可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部は細い路地まで入り、市街地部と郊外部の行き来は同じ車両で行うために小型のワゴン車等で運行すると、需要が多い場合(特に市街地内)に定員オーバーする可能性がある。</li> </ul>	△
	空車運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者がいなくても、空車のまま運行する。</li> </ul>	×
	運行経費【年間】	<p>合計：約1,350万円</p> <p>(バス運行委託費のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デマンドシステム費・オペレータ費がかからないため、安く抑えることができる。</li> </ul>	◎